

経済学史学会第88回大会プログラム（2024年5月25日・26日、尾道市立大学）  
 JSHET 2024 (88th) Conference Programme (25th and 26th May 2024, Onomichi City University)

5月25日（土）・大会1日目（25th May）				
時刻	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場（Room 4）
09:30-10:30	塩沢晃平（慶應義塾大学・院） 論題：エドモンド・バークの文明化における「家族」の意義 司会者：小島秀信（同志社大学） 討論者：佐藤一進（神戸学院大学）	セッション：初期のケンブリッジ経済学者から見たマーシャル経済学—アルフレッド・マーシャル没後100年を記念して 代表者：松山直樹（兵庫県立大学） 第1報告：松山直樹（兵庫県立大学） 論題：J.N.ケインズから見たマーシャル経済学 第2報告：山本崇史（北海道大学・研究員） 論題：A. C. ビグーから見たマーシャル経済学 第3報告：伊藤宣広（高崎経済大学） 論題：J. M. ケインズから見たマーシャル経済学 第4報告：仲北浦淳基（大正大学） 論題：D. H. ロバートソンから見たマーシャル経済学 司会者：岩下伸朗（福岡女学院大学） 討論者：木村雄一（日本大学）、山崎聡（高知大学）	間橋大地（東京都立大学・院） 論題：ジェイコブ・ヴァイナーと無条件最恵国待遇—無差別原則に基づく国際貿易秩序への礎 司会者：久松太郎（同志社大学） 討論者：田淵太一（同志社大学） 岩木雅宏（京都大学・院） 論題：戦間期日本にネオリベリズムの一起源を探る—自由通商協会の思想 司会者：佐藤方宣（関西大学） 討論者：布施豪嗣（大東文化大学・非）	BAI, Mingze (The University of Hong Kong, Ph.D. Candidate), GAO, Chenxi (Kyushu Sangyo University) Title: The Intellectual Value of a Critical Heuristic Device: The Marxist Political Economy Legacy in Contemporary Urban Studies Chair: NIIDA, Tomoyuki (Tokyo Keizai University) Discussant: ISHII, Jui (Kanto Gakuin University) 侯備倩（北海道大学・院） 論題：平田清明の市民社会論—批判と検討 司会者：坂本達哉（慶應義塾大学・名） 討論者：若森章孝（関西大学・名）
10:40-11:40	八木尚志（明治大学） 論題：『国富論』における労働およびその生産物の数量と価格 司会者：佐藤有史（立教大学） 討論者：佐藤滋正（尾道市立大学・名）	松永友有（横浜国立大学） 論題：ウィリアム・ペヴァリッジのたいなる野望と挫折—1942年『ペヴァリッジ報告』と『自由社会の完全雇用』（1944年）をめぐって 司会者：永嶋信二郎（名寄市立大学） 討論者：小峯敦（法政大学）	山崎好裕（福岡大学） 論題：サージェントと荻生徂徠における少額貨幣 司会者：宮田純（帝京大学） 討論者：西岡幹雄（同志社大学）	ZHANG, Fengran (Tohoku University, Research Student) Title: Beyond Western Origins: Exploring the Adaptation of Mercantilism in Late Qing Dynasty China Chair: MATSUMOTO, Akhito (Matsuyama University) Discussant: ITO, Seichiro (Ohsuki City College)
11:40-12:25	昼食（Lunch）			
12:25-13:20	総会（第1会場）			
13:30-14:30	中澤信彦（関西大学） 論題：レーニンのマルサス批判 司会者：小沢佳史（立正大学） 討論者（オンライン）：太田仁樹（岡山大学・名）	瀬尾崇（金沢大学） 論題：ポスト・シュンペーター的経済学の探求—ジョージ・ジェクス＝レーグンをつつの手がかりとして 司会者：桑田学（放送大学） 討論者：楠木敦（北星学園大学）	泉正樹（東北学院大学）、江原慶（東京工業大学）、結城剛志（埼玉大学） 論題：20世紀初頭の計算貨幣論とその計量テキスト分析—クナップとイネスを中心として 司会者：本郷亮（関西学院大学） 討論者：内藤敦之（大月短期大学）	ZHANG, Yuanqing (Hokkaido University, Ph.D. Student) Title: Tomoko Matsuda on Wise Consumption: Based on the Perspective of Household Economics Chair: IKEGAKI, Kotoe (Nihon University) Discussant: ITAI, Hiroaki (Senshu University)
14:40-15:40	渡邊碩（京都大学・院） 論題：ゾンバルト『ユダヤ人と経済生活』（1911）へのルーヨ・ブレンターノによる批判と、その同時代的含意 司会者：原田哲史（関西学院大学） 討論者：恒木健太郎（専修大学）	石井元基（早稲田大学・院） 論題：1930年代初期ハイエクにおける方法論的一貫性をめぐって 司会者：太子堂正称（東洋大学） 討論者：尾近裕幸（國学院大学）	服部茂幸（同志社大学） 論題：黒田日銀の転進 司会者：廣瀬弘毅（福井県立大学） 討論者：山崎好裕（福岡大学）	
15:50-16:50	招待講演：米田昇平（下関市立大学・名） 論題：18世紀フランス経済学とその思想的コンテクスト—奢侈論争を中心に 司会者：出雲雅志（神奈川大学）	平瀬友樹（法政大学） 論題：カレンツキの景気循環分析について 司会者：中村隆之（青山学院大学） 討論者：山本英司（金沢星稜大学）	田中秀臣（上武大学） 論題：住谷一彦の平和運動論 司会者：原田天津男（龍谷大学） 討論者：大槻忠史（東洋大学）	
17:00-18:00	招待講演：生越利昭（兵庫県立大学・名） 論題：ロックからミスヘー私の学んだこと 司会者：大倉正雄（拓殖大学・名）			
19:00-20:45	懇親会（Gala Dinner）			

プログラムには変更の可能性があります。最新版については学会ホームページ（Jshet.net）をご覧ください。

5月26日(日)・大会2日目 (26th May)				
時刻	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場 (Room 4)
09:30-10:30	<p>新村聡 (岡山大学・名)</p> <p>論題: アダム・スミスの思想的進化—『法学講義』から『国富論』へ</p> <p>司会者: 久保真 (関西学院大学)</p> <p>討論者: 高哲男 (九州大学・名)</p>	<p>金子創 (東京都立大学)</p> <p>論題: 社会関係資本概念の起源と「弱い」方法的個人主義の展開</p> <p>司会者: 橋本努 (北海道大学)</p> <p>討論者: 高見典和 (東京大学)</p>	<p>セッション: 「後発高等教育機関」の教育史的研究—既存の法学・経済学教育に対する独自性の追求</p> <p>代表者: 牧野邦昭 (慶應義塾大学)</p> <p>第1報告: 松山直樹 (兵庫県立大学)</p> <p>論題: 県立神戸高等商業学校における経済学教育—伊藤眞雄初代校長を中心に</p> <p>第2報告: 岩垣真人 (奈良県立大学)</p> <p>論題: 沖縄における高等教育の展開と法学教育の独自性</p> <p>第3報告: 牧野邦昭 (慶應義塾大学)</p> <p>論題: 慶應義塾における「高等」商業教育</p> <p>司会者: 楠山研 (武庫川女子大学)</p> <p>討論者: 古谷豊 (東北大学), 南森茂太 (長崎大学)</p>	
10:40-11:40	<p>山本英子 (成蹊大学・非, 明治学院大学・非)</p> <p>論題: コルベールとコルベルティスム—ボワギルベールによる批判の妥当性と其の継承</p> <p>司会者: 安藤裕介 (立教大学)</p> <p>討論者: 谷田利文 (京都第一赤十字看護専門学校・非)</p>	<p>吉田雅明 (専修大学), 平瀬友樹 (法政大学)</p> <p>論題: 批判的実在論と理論史研究—消費者余剰をめぐるテキストをケースに</p> <p>司会者: 原谷直樹 (群馬県立女子大学)</p> <p>討論者: 川俣雅弘 (慶應義塾大学・名)</p>		<p>GAO, Chenxi (Kyushu Sangyo University)</p> <p>Title: The Classical Definition of Service and its Misinterpretation in Political Economy</p> <p>Chair: SATO, Sora (Keio university)</p> <p>Discussant: KAWAWAKI, Shinya (Kyushu International University)</p>
11:40-12:40	<b>昼食 (Lunch)</b>			
12:40-16:00	<p>共通論題: いま、なぜ・いかにして経済学史研究か (第1会場)</p> <p>組織者: 吉野裕介 (関西大学), 藤田菜々子 (名古屋市立大学)</p> <p>第1報告: 藤田菜々子 (名古屋市立大学)</p> <p>論題: ミュルダールの経済学説からスウェーデン経済学史へ—研究の現代的意義と戦略</p> <p>第2報告: 結城剛志 (埼玉大学)</p> <p>論題: 資本主義をいかにとらえるか—『資本論』の計量テキスト分析を手がかりにして</p> <p>第3報告: 上宮智之 (大阪経済大学)</p> <p>論題: 経済学史研究の役割と新たなデジタル資料の活用</p> <p>司会者: 吉野裕介 (関西大学)</p> <p>討論者: 石田教子 (日本大学), 中井大介 (近畿大学)</p>		<p>12:40-12:45 プログラムの確認および報告者・討論者の紹介</p> <p>12:45-13:05 第1報告</p> <p>13:10-13:30 第2報告</p> <p>13:35-13:55 第3報告</p> <p>14:00-14:15 討論者によるコメント1</p> <p>14:15-14:30 討論者によるコメント2</p> <p>14:30-14:40 休憩</p> <p>14:40-15:00 報告者によるリプライ</p> <p>15:00-15:50 全体討論</p> <p>15:50-16:00 総括</p>	
16:00-16:10	閉会の挨拶 (代表幹事, 第1会場)			

プログラムには変更の可能性があります。最新版については学会ホームページ (Jshet.net) をご覧ください。